

議員提出議案第13号

学校施設環境整備事業に対する国庫補助の拡充を求める意見書

上記の議案を提出する。

平成30年10月15日

提出者	12番	梅沢 とよかず	13番	伊藤 よしのり
	19番	かわごえ 誠一	22番	秋 家 聡 明
	23番	平田 みつよし	30番	小 林 ひとし
	31番	中 村 しんご	32番	三小田 准 一
	33番	小 山 たつや	34番	く ぼ 洋 子
	35番	黒柳 じょうじ	40番	大 高 拓

葛飾区議会議長 筒井 たかひさ 殿

学校施設環境整備事業に対する国庫補助の拡充を求める意見書

学校施設は、子どもたちの学習・生活の場であるだけでなく、区民の生涯学習、文化、スポーツなどの活動での利用や、地震などの非常災害時には、避難所として重要な役割を担う公共施設である。

葛飾区には小学校が49校、中学校が24校あり、その多くは昭和30年代から40年代にかけて整備されたもので、小学校の約7割、中学校の約3割が建築から50年以上経過している。今後、順次改築が必要となり、学校施設に求められる機能・性能を維持・向上させる長寿命化改修と改築を組み合わせながら進めていくこととしているが、それには多額の財源確保が不可欠である。

よって、本区議会は国会及び政府に対し、現在、国の「学校施設環境改善交付金」制度はあるものの、改築には多額の経費が必要となること、また、多くの学校が改築対象になることに鑑み、交付金の総額を増額し、校舎建築基準（単価・面積）及び補助率の引き上げを強く要望するものである。併せて、確実な採択を行うことを強く求める。

とりわけ、災害時、避難所の機能を担う学校体育館については、室内温度環境が適切に保たれるよう遮熱性の高い構造とする仕様や空調設備及び太陽光発電などの非常用電源供給体制の確保への補助単価の増額を図ることを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。